

国内クレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 22 年 2 月 26 日

審査機関名 株式会社日本スマートエナジー

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	森林バイオマスを利用する地球に優しい大隅うなぎ養殖事業	
承認番号	JCDM-PJ0071	
排出削減事業者名	有限会社立石養鰻	
排出削減共同実施事業者名	凸版印刷株式会社 株式会社リサイクルワン (その他関連事業者：協同組合きもつき木材高次加工センター)	
事業実施場所	立石養鰻 (鹿児島県肝属郡肝付町新富 1784-2)	
事業の概要	鰻養殖場の加温用ボイラーを A 重油ボイラーから木質チップ温水ボイラーに転換することにより、A 重油使用量を削減し製材端材等を有効活用するとともに、CO2 排出量の削減を行うもの	
排出削減量の計画	571tCO2/年 (事業実施期間合計 2,409tCO2)	
国内クレジット 認証期間	開始日	2009 年 1 月 10 日
	終了予定日	2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新	

2. 本実績確認の対象期間

2009 年 1 月 10 日～2010 年 1 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングさ

れた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	646tCO ₂ (2009年1月10日～2010年1月31日)
--------------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 承認排出削減事業計画通りに、A重油ボイラーを木質チップ温水ボイラーへ更新する事業が実施されていることを事前審査の現地訪問の際に確認している。 2) 導入設備が本実績報告期間において稼働していることを、燃料納入実績の確認、排出削減事業者および燃料供給業者への質問や現地訪問時の視認により確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることを、稼働開始月の燃料納入実績や試運転完了時期についての質問等により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、関連事業者からの請求書および含水率の計測に基づく発熱量の算定がなされていることの確認などにより、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、モニタリングが実施されていることを確認している。 2) 現地訪問時の目視確認、審査に立ち会った関係者への質問、関連事業者からの請求書上に基づく木質チップ使用量等の確認により、事業実施後燃料使用量その他の計測値の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認している。 3) 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、

	<p>排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。</p> <p>4) 事業実施後輩出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2009 年 1 月 10 日から 2010 年 1 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。

5. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量について、原油換算 236.7k1 であることを確認した。